

日中の相互理解をより深めるため

第一回・「日本人の中国語作文コンクール」のご案内

今年は戦後60周年に当たります。負の遺産を乗り越え、新たな日中関係を構築すべく、私たちは日本僑報社の執筆者を中心に、日中交流研究所（段躍中所長）を設立する運びとなりました。日中両国の民間交流を促進するため、日本人の中国理解を深めるため、研究所設立記念の一環として、第一回「日本人の中国語作文コンクール」を実施します。

【応募資格＝中国語ができるすべての日本人】

特別賞（中国大使賞）受賞者に「北京往復航空券」

【テーマ】（下記の内、いずれか一つのテーマを選んでください。）

①「中国語と私」

中国語学習について、「きっかけ」、「今の気持ち」、「困ること」、「中国語の難しさ」、「中国人教師や中国人との出会い」、「将来の夢」、など。

②「日中相互理解を深めるには、どうしたらいいか」

「日中相互理解を深めるためのいろいろな「提案」。中国政府や中国人、中国企業などについて、「言いたいこと」、「好き・嫌いなどところ」。日本と日本人の立場や生活などについて「知ってもらいたいこと」。

★【体裁・字数】 中国語簡体字・手書き・400字詰原稿用紙4枚まで。別紙に、氏名、住所、電話番号、メールアドレス（お持ちの場合）、所属（学校名・会社名等）、および略歴（受賞作品が単行本に掲載される場合に使用します）を記してください。※応募作品は返却いたしません、ご了承ください。

★【締め切り日】 2005年7月30日（土）必着。 ※2005年9月30日必着（2005年7月11日現在）

★【作文の送り先】 日本333-0866埼玉県川口市芝5-6-6 日中交流研究所

★【審査の方法】 審査は、学生の部と社会人の部に分けて行い、「中国語の語彙・文章＝50点」、「内容＝50点」を基準とした点数制とします。第一次審査にて在日中国人記者・編集者の審査員が入賞作文を選定し、さらにこの入賞作文の中から、学者を中心とした最終審査委員が特別賞などを決定します。

【賞】（学生の部と社会人の部にそれぞれ）

特別賞（中国大使賞）各1人（賞状＋北京または上海往復航空券）
一等賞 各2人（賞状＋賞金3万円）
二等賞 各5人（賞状＋2万円相当の書籍）
三等賞 各10人（賞状＋1万円相当の書籍）

※入賞された作文は日本僑報社より単行本として刊行、中国国内の新聞に掲載する予定です。（その場合、出版権は日本僑報社に帰すことをご確認ください）

★最終審査委員★

朱建栄・東洋学園大学教授
莫邦富・ジャーナリスト
王曙光・拓殖大学教授
劉傑・早稲田大学教授
王敏・法政大学教授
趙軍・千葉商科大学教授
裴軍・中国青年報東京支局長
段躍中・日中交流研究所所長

【発表と表彰式】

応募者に書面でお知らせすると同時に、「日本僑報」に掲載します。表彰式は年内に東京で行います。特別・一等賞の受賞者は招待します。 ※表彰式は現在未定といたします。（2005年7月11日現在）

【主催】 日中交流研究所

【後援】 中国大使館、中国青年報、北京青年報、（財）日中友好会館、日中文化交流協会、日中友好議員連盟、（社）日中友好協会、（社）日中協会、日本国際貿易促進協会、日本華人漢語教師協会、福井華僑華人聯誼会、日本中国語検定協会、日本中国友好協会、（財）日中経済協会（2005年5月20日現在、追加中）

協賛スポンサー募集中

お問い合わせ先 電話 048-432-7332 FAX048-432-7335 duan@duan.jp http://duan.jp

以上の経緯と趣旨をご理解頂き、以下の要領で、皆様のご支援・ご協力をよろしくご願ひ申し上げます。※一口・5千円 ※振込先 ■郵便振込口座 00160-4-260656 日中交流研究所 ■銀行振込口座 U.F.J銀行 フラビ支店 普通 4568199 日中交流研究所